発表！ 第20回 春のじゅんゆう文芸賞 入賞作品

循誘校区の地域活動「春のじゅんゆう文芸賞」は今年度20回目を迎え、活動の更なる広がりを目指しています。循誘校区には歴史資源も多く、表彰式会場の八坂神社には江戸時代に成就院の僧が歌を詠んだという言い伝えも残っています。私たちのこの取り組みが、校区の、また佐賀の文化的気風の醸成につながれば幸いです。春風に揺れる短冊は「じゅんゆう」のささやかなおもてなしです。どうぞごゆっくりご高覧ください。

循誘まちづくり協議会　会長　平川 哲男

俳句

【小学生・中学生の部】

天賞　ひな人形　父といっしょに　組み立てる　真島　翔泰

（選者より）三月の桃の節句では女の子の成長や健康を願ってお雛様を飾る。一年ぶりに箱から出すとき、父親が手伝ってくれるうれしさが伝わってくる。仲睦まじい家族の様子が伝わってくる句。

地賞　風そよぐ　桜並木に　僕達が　江崎　明徳

人賞　入学式　新たなはねを　のばすとき　河島みずほ

入選　たんぽぽが　野原の風に　ふかれてく　笹部　桜花

花畑　モンシロチョウが　とんでいる　溝口　利空

祖母の庭　ふと木を見ると　梅の花　中島　優月

桜咲く　新たな生活　始まりだ　野口　豪

新しい　出会いの予感　春の風　山本　泰斗

【一般（高校生以上）の部】

天賞　雛壇に　彩を重ねる　夕陽かな　小島　宗子

（選者より）雛壇には雛人形だけではなく、さまざまの調度品も飾られ、見る人の目を楽しませてくれる。それが夕日に映えていっそうきわだつ美しさとなった。雛人形は飾るだけで幸せな気分になる。

地賞　紙雛も　加へて居間の　賑はいぬ　岡　文子

人賞　春の匂い　かすかに届く　校門前　平井　星那

入選　六百年　大地摑んで　楠若葉　佐々木保恵

通学の　小さき石橋　水草生ふ　光野　遊季

産院の　門出に光る　春の雪　杉谷登茂子

抱っこした　子の目に映る　春の空　松尾　直子

この四月　君との距離が　遠くなる　小野　珠鈴

川柳

【小学生・中学生の部】

天賞　新しい　春とクラスが　やって来た　柳川　鷲流

（選者より）新学期は新しいクラスになる。みんなで希望に満ちた学期を迎える。

地賞　新学年　あらたなクラス　ドアを開け　副島　力哉

人賞　羽ばたこう　それぞれの空　どこまでも　髙田　夢翔

チューリップ　あざやかに咲く　春の花　井上保奈美

入選　桜さく　出会い楽しみ　新クラス　西岡心緑佳

サクラサク　高なる気持ち　新学期　原田　琉星

卒業式　今日で最後の　田んぼ道　松尾　咲良

もも色の　風にさそわれ　走り出す　牧瀬　紗奈

【一般（高校生以上）の部】

天賞　春風に　背なで弾ける　ランドセル　井手　裕幸

（選者より）大人から見るランドセルは元気いっぱいだ。この先が楽しみになる。

地賞　はる風に　優しく育て　循誘っ子　今田　真人

人賞　入学の　初孫眩し　ランドセル　嘉村　正司

入選　ひな祭り　あふれる笑顔　佐賀城下　中村　松代

佐賀城下　散策をする　車椅子　内田　直美

春うらら　土手の草花　笑い出す　大坪　末美

手をにぎり　ママと歩いた　通学路　金岡　薫

家族への　感謝を胸に　巣立ちゆく　井手　順子

一行詩

【小学生・中学生の部】

天賞　ホーホケキョ　かなでる音色　春を呼ぶ　橋本　綸

（選者より）うぐいすの声が春を呼びよせてくれているのでしょうか。耳で感じる春ですね。

地賞　入学式　太陽照らす　子供達　前田菜摘奈

ランドセルの色　個性あふれる　樋口　柚花

人賞　花ばたけ　色とりどりの　キャンディボックス　野田翔太朗

入選　てんとう虫　みんな出てきて　春告げる　松尾　莉音

おはなみに　来てみたけれど　残念だ　伊達　涼花

桜まだまだ準備中　小松　希紗

春の朝　澄んだ空気に　混じる花の香　杉山　莉子

花見客　桜ふぶきに　包まれて

はしゃぐ子どもは　花びらつかむ

桜餅　ほおばりふくれる　ピンクのほお

幼きいとこのベストシーン　林　瑛月

【一般（高校生以上）の部】

天賞　雛を見て　わくわくしていた　幼少期　高橋　正光

今でも私に話しかけてきそう　森　洋美

（選者より）幼いころを思い浮かべながらお雛様を眺めているのでしょう。大人になってもお雛様は特別。

地賞　恒例の　桜マラソン　古き友の　完走を祈る　枝永　一馬

人賞　誇らしさに　少しのはにかみ　一年生　木原　心美

入選　児童らの声　公園に満ち　春を生む　正野　杏美

桜の花　風に乗って　ダンシング

新学期　緊張の肩に　桜寄り添う

お早ようと　新入学の子等が行く胸はずませ　藤井　誠

春の空　まばたき忘れる　桜模様　踊るランドセル　江口　実来

選者の作品

俳句

栗林　白霜（佐賀県俳人協会評議員）

ひなまつり　子ども太鼓の　桴さばき

川柳

西村　正紘（元佐賀番傘川柳会会長）

春風が　背中を押して　くれている

一行詩

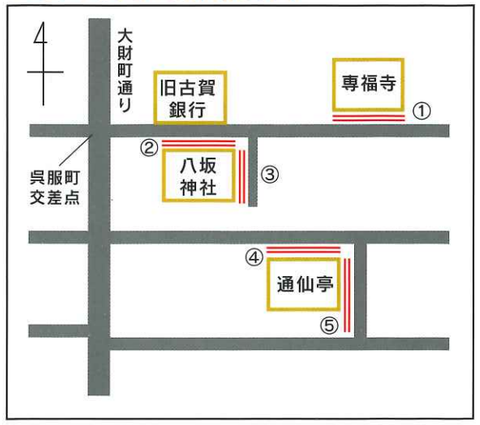
井原　竹始（佐賀市立循誘小学校校長）

空見上げ　心安らぐ　春の雲

新たな決意　そっと固める

じゅんゆう文芸賞の作品が展示される行程では、作品をデータに打ち込む人、短冊に筆書きする人、絵を添える人、パウチ加工する人、紐につなげて展示する人…校区の方、公民館サークルの方など、多くの人の手、技や工夫を経て大切に展示されます。応募された作品には来る春への期待が溢れています。読み進めながらまちを散策してみてくださいね。佐賀城下ひなまつりを一層満喫できそうですよ。

短冊の展示場所案内図



①循誘小学校
②一般
③勧興小学校
巨勢小学校
兵庫小学校
④城東中学校
⑤佐賀女子高校

展示期間　令和6年2月10日（土）～3月20日（水・祝）
（佐賀城下ひなまつりと同期間）
入賞作品は八坂神社境内にも展示しています。